

子どもの未来をひらく教育改革会議報告書 概要

〈目指す子ども像〉

一人ひとりの可能性が引き出され、夢や希望をもつ子ども
 自分の力でやり遂げ、自立する力をもつ子ども
 思いやりの心もち、行動できる子ども

「自立と共生」

〈連携〉

子どもを育てる共同体として、相互に理解し、受入れ、補い合う

〈家庭〉

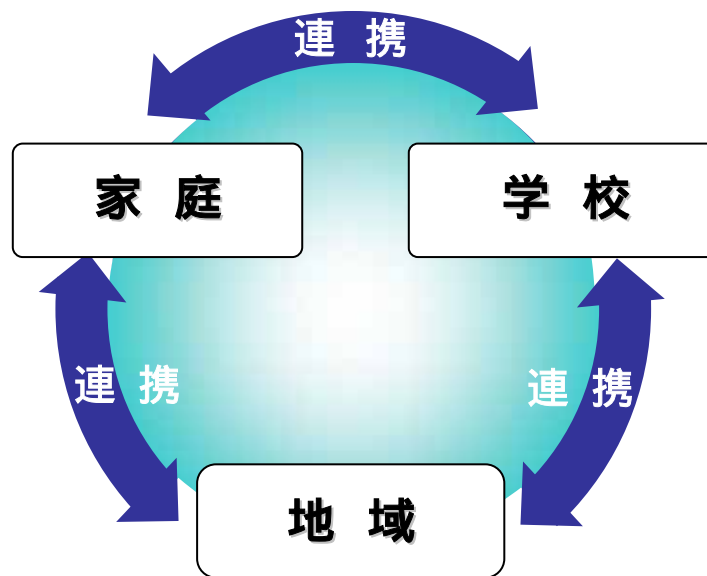
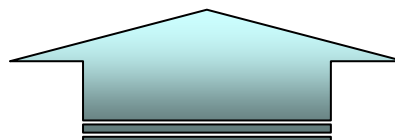
すべての教育の出発点。
 周囲に支えられ、学校、地域に参画し、子どもの心と育ちを支える。

〈学校〉

子どもが人と人とのかかわりの中で学び、心身をはぐくむ場所。
 子どもそれぞれの成長を促す教育のために挑戦し、家庭や地域に開かれた運営を実現する。

〈地域〉

北九州市がもつ人の力、まちの力を、子どもの教育につなげる。
 学校や家庭を支え、豊かな活動を実施する。



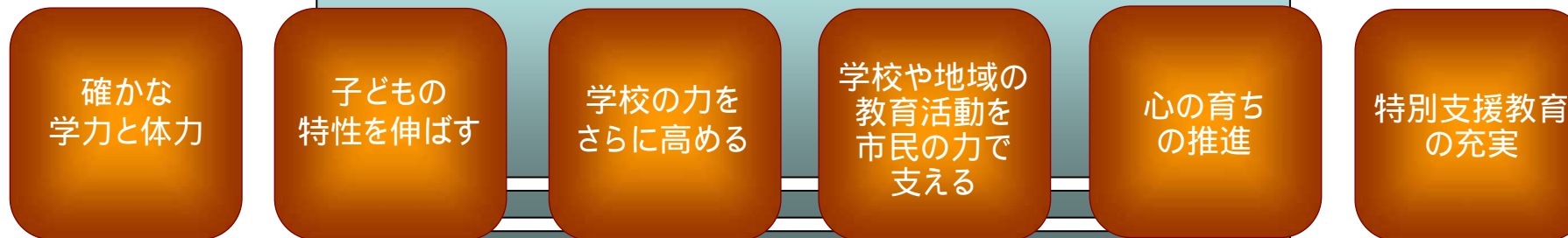
取組みを進めるにあたって ～「教育日本一」の考え方～

子ども、保護者、教職員、地域住民・企業の満足度、実感を重視

- 子ども
 - ・学校が楽しい、北九州市で教育を受けてよかったと実感できる
 - ・生きる力を身につけ、一人ひとりの可能性が引き出される
- 保護者
 - ・学力、体力、心の豊かさなどから子どもの成長が目に見える
 - ・学校との信頼関係が培われている
 - ・障害や不登校など子どものニーズに対応した多様できめ細やかな選択肢が用意されている
- 教職員
 - ・子どもの人間性の成長、学力、体力の向上が実感できる
 - ・教職員であることに充実感がある
- 地域
 - ・地域の子どもの健全な成長が実感できる
 - ・子どもの教育へのかかわりを通じて地域のつながりが強まる
- 企業
 - ・企業が職場で求める能力を備えた人材を確保できる

市民一人ひとりの子どもの教育に対する高い関心と自覚、主体的な参画を重視

6つの視点の目指すべき方向性に沿った施策を推進



〈行政〉 家庭、学校、地域それぞれがもつ力を発揮するための支援、連携の道筋をつける役割を果たす。

6つの視点ごとの目指すべき方向性・具体的取組み

確かな学力と体力

家庭、学校、地域が真に連携し、基本的生活習慣の定着、子どもの発達段階に応じた学力・体力の育成に取り組む



確かな学力、体力の向上のための取組みの推進、継続的な授業の改善と充実

授業改善の推進
言語力の向上
地域や家庭と連携した読書活動の充実
各学校における「体力アッププラン」の推進 など

基本的生活習慣や家庭学習の定着など、家庭の教育力の向上

保護者の理解促進、支援(声の届かない保護者への一層の働きかけ)
子育て支援の取組みを通じた家庭教育に関する働きかけ
仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進 など

食育など健全な心身の育成

効果的な食育指導 など

子どもの特性を伸ばす

子どもが高い目的意識をもち、もてる可能性を發揮する仕組みをつくる



子どもが高い目的意識をもつ仕組みとして、特色ある学校づくりを推進

部活動の活性化等
小中連携教育のあり方の検討
専科教育の充実 など

北九州市の特性を活かした環境やものづくり、国際理解教育の推進

環境教育、ものづくり教育の推進
国際理解教育の推進 など

勤労観や職業観の育成、キャリア教育の充実

企業と連携したキャリア教育の充実 など

心の育ちの推進

すべての人が、人を思いやる心を持ち、ルールやマナーを守ることが大切にする社会の実現



家庭での教育、幼稚園、保育所、学校、地域での経験を通じて自尊心、他を思いやる心を醸成する仕組みの実現

体験活動を重視した道徳教育 など

不登校・いじめにきめ細かに対応する社会の実現

不登校・いじめに対応する体制の充実
スクールカウンセラー等支援体制の充実 など

規範意識の醸成(問題行動を繰り返す児童・生徒に対する毅然とした指導とサポート)

子どもたちを有害情報などの危険から守り、携帯電話などの利用について再考を促進

携帯電話などの利用について、関係業界を含めた家庭、学校、地域が一体となった取組み など

社会全体で子どもを見守る体制の構築

学校の力をさらに高める

教職員一人ひとりの能力、学校の組織力を高め、学校がもつ力を發揮させる



教職員が子どもと向き合う時間をさらに増やし、一人ひとりの教職員が優れた能力を發揮できる体制を構築する

少人数学級など教育条件の整備
学校事務の見直し
優秀な教員を確保するための仕組みづくり
夏休みなど長期休業日の弾力的な運用 など

学校長を中心とした学校の経営力の強化、組織力の向上

校長の裁量権の拡大 など

子どもの活動意欲を高める拠点としての学校づくり

学校図書館の充実 など

学校や地域の教育活動を市民の力で支える

北九州市がもつ人の力、まちの力をあげて教育を充実させる



開かれた学校を実現し、地域をまきこんだ学校運営に取り組む(できる地域からできるレベルの取組みを推進)

学校の積極的なオープン化(施設、情報)
スクールヘルパー制度の充実
学校支援地域本部など学校の応援団づくり
企業等との連携の強化 など

地域と子どもの交流を深め、地域の教育力向上を支援する

スポーツ、文化など本物の体験や大人との関係を通じた育ちを重視した取組み
体験活動や異学年交流を重視した取組みの推進 など

子どもの教育を支援する活動に幅広い市民の参加を促す仕組みづくり

地域の人材発掘、育成とネットワークの構築 など

特別支援教育の充実

障害の有無にかかわらず、すべての人が生き生きと活躍できる社会の実現



特別支援教育推進のための体制の整備

全市的な相談支援体制の整備 など

特別支援教育の環境整備

支援を行う人材の配置
幼稚園、保育所における特別支援教育の充実 など

一人ひとりの教育的ニーズに応える教育の推進

幼稚園、保育所など就学前からの情報の引継ぎ
個別の指導計画等の作成 など

教職員の専門性の向上と保護者・市民等への理解促進

教職員等への理解・啓発 など